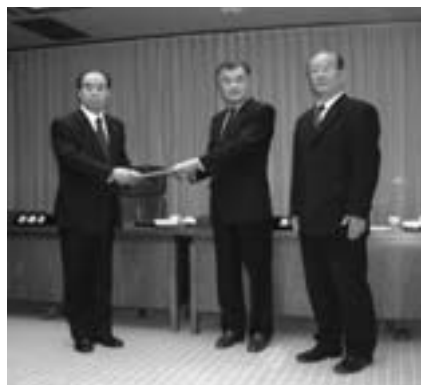


変わります！

より開かれた

わかりやすい羽村市議会

第2次議会改革最終答申



羽村市議会では、平成17年度に続き、18年度から第2次の議会改革検討委員会を設置し、より開かれた、わかりやすい議会のあり方について検討を続けてきました。

このほど、最終報告がまとまりましたので、概要をお知らせします。

今後は、これらの報告に沿って、市民のみなさんにわかりやすい市議会を目指して、一歩一歩着実に改革に取り組んでいきます。

最終報告の概要

情報を発信する議会

■傍聴者への資料の充実

より開かれた、わかりやすい議会としていくためには、多くの市民のみなさんに議会を傍聴していただき、審議の様子を知っていただくことが大切です。そのため、審議内容が分かりやすくならよう、個人情報保護に注意しながら、必要な資料を傍聴する方に提供していきます。

改革を進める議会

■会議録作成のIT化

地方自治法の改正により、議会の会議録は電子データの形で作成することも可能となりました。

また、近年は音声も文字データに変

換する自動反訳の技術も進歩してきます。

そこで、これらIT技術の活用によって、より速く、より効率的に会議録を作成していくため、他の自治体の状況などを調査し検討していきます。

これまでの改革

第1次と第2次の議会改革検討項目は、全部で51項目にのぼります。議会では、これら改革について平成16年2月からおよそ3年にわたって検討してきました。

第1次・第2次議会改革検討委員会の提言を受け、議会ではこれまでに次のような改革を行いました。

■議員定数の削減

平成17年3月に、議員定数を20人から2人減の18人とすることを決めました。議員定数の削減は、本年4月に実施される羽村市議会議員選挙から適用されます。

■一般質問の一問一答方式の導入

議会の活性化を図り、傍聴する方に分かりやすい議事運営を進めるため、平成17年6月議会から一問一答方式を導入しました。

■政務調査費の支給方法の見直し

政務調査費の支給について、使途の透明性を高めるため、領収書等証拠書

類添付の義務付け、証拠書類の保存年限を3年から5年に延長するなど見直しを行いました。

■委員会の審査・調査の充実

委員会には、議会から付託された議案をより詳しく審査することや、委員会が所掌する市の事務を調査する権限があります。こうした権限をさらに積極的に活用していきます。

■議会だより・ホームページの充実

議会に関する情報を、よりわかりやすく、早くお知らせするため、議会だよりやホームページの見直しを行い、内容の拡大・充実に努めました。これからの議会活動をわかりやすくお伝えしてまいります。

議会改革の詳しい内容は議会ホームページをご覧ください。ご意見やご要望もぜひお寄せください。

議会ホームページアドレス
<http://www.city.hamura.tokyo.jp>

行政視察 レポート

厚生委員会



◎船木良教 ○濱中俊男 瀧島愛夫
菱田樹樹 桑原 寿 高橋美枝子

(詳しくは15頁をご覧ください。)

■伊達市における地域生活支援
北海道伊達市

■災害弱者支援事業
北海道旭川市

■「すきやき隊」による子育て支援
北海道庁

■「すきやき隊」による子育て支援

視察内容・視察先

視察日 平成18年5月15日～17日

高齡福祉及び障害福祉

視察テーマ

子育て支援、児童福祉、

私たち市議会議員は、特徴ある施策を実施して、すぐれた成果をあげている自治体を視察し、今後の羽村市の行政に反映するため、調査・研究を行っています。平成18年度に実施した視察については、昨年11月に報告会を開催し、多くの市民のみなさんにその成果を発表しました。視察は厚生・経済・総務の各常任委員会ごとに行いました。その概要をお知らせします。

経済委員会



◎市川英子 ○中根康雄 石居尚郎 水野義裕
佐藤征一 染谷洋児 秋山 猛

(詳しくは16頁をご覧ください。)

■中心市街地活性化に係る取組み
福島県会津若松市

■住民参加のまちづくり
福島県郡山市

視察内容・視察先

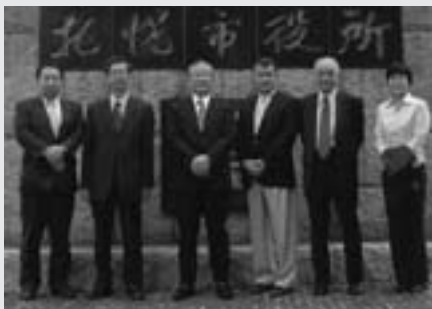
視察日 平成18年7月5日～7日

商工業の振興及び観光

都市基盤整備、

視察テーマ

総務委員会



◎露木諒一 ○馳平耕三 門間淑子
川崎明夫 雨宮良彦 中原雅之

(詳しくは17頁をご覧ください。)

■指定管理者制度
北海道札幌市

■生涯学習への取組み
北海道真狩村

視察内容・視察先

視察日 平成18年7月19日～20日

及び生涯学習

施設の管理運営

視察テーマ

◎は委員長
○は副委員長

厚生委員会の報告

「すきやき隊」による子育て支援

北海道庁

地域子育て強化事業「せわずき・せわやき隊」(略称「すきやき隊」)の組織化、活動支援

視察の目的・内容

北海道では、昨年度から、地域住民の参加による「せわずき・せわやき隊」を組織し、「子育て」「子育て」への地域ぐるみの支援活動を推進し、活動を通し地域住民の少子化対策への意識醸成や連帯を促進し「地域の子育て力」のパワーアップを図っています。支援活動の目的、主な活動「子ども未来づくり運動」の展開について視察しました。

視察を終えて

当市でも核家族化や近隣との人間関係の希薄

災害弱者支援事業

旭川市

次世代ネットを活用した災害弱者支援事業について

視察の目的・内容

旭川市には、しっかりした消防団組織(34分団)、防災組織(約2万人)があり、常備消防との永年にわたる活動・交流の積み重ねがあります。

平成2年に、災害弱者緊急通報システム「ホットライン119」、平成13年から、在宅支援サービスの一環として「ほのぼのサービス」、平成15年度から「あんしん訪問」を開始。端末を持参して、センターの保健師とモニターで血圧データ等を送信し、問診を行う事業です。

化などによる子育ての孤立化、家庭や地域の子育て力の低下が課題となっています。

地域の方々の力を結集しての取り組みは大変参考になりました。



視察を終えて

実施するためには種々の段階を踏む必要がありますが、災害弱者支援は、市民や防災・福祉等部門間の連携・協力が必要です。検討を加え、羽村方式の確立を望むものです。

地域生活支援

伊達市

先進的に障害者の地域支援を行っている「だて地域生活支援センター」について

視察の目的・内容

伊達市の人口は約3万7千人です。地域支援の対象者は408人でグループホームや民間アパート、借家など103カ所で暮らしています。

地域支援スタッフは共同住居世話人など108人で、結婚しているカップルも支援しています。

企業就労をしている障害者は153人で、職親会(しよくおやかい)が大きな役割を果たしています。

視察を終えて

障害者がまちで暮らしていくことについて、地域で支える伊達市に多くの事を学び、羽村市で生かしていきたいと思いました。



住民参加のまちづくり 郡山市

郡山市徳定地区の区画整理事業概要について

視察の目的・内容

郡山市は奥州街道の要所として栄え、大正13年に市制を施行、面積757平方キロ（羽村市の80倍）人口約33万人の都市です。

昭和20年の空襲により市街地がほとんど焼失してしまつたことから、土地区画整理事業にいち早く着手しました。

中心部の駅前などを知事施行で整備し、以来区画整理事業をまちづくりの重点施策と位置付け、市内41地区で実施、うち、完了地区は25地区989ヘクタールに及んでいます。

経済委員会では、順調に進んでいる「伊河原地区」と、大変な苦勞を経た「徳定地区」を視

察しました。

このうち「徳定地区」は、東西に分断されており、道路が少なく幅員も狭い。再々水害が発生する地区です。平成7年に事業計画が決定されましたが、一部の市民に理解が得られず事業を中断しました。

その後、地区内のアンケート調査を行い、地区担当職員の配置、まちづくり懇談会の実施などの努力の結果、住民の理解が得られ、平成17年に事業が再開しました。

視察を終えて

「徳定地区」は、時間をかけて住民に説明しながら計画を推進した姿勢は参考になりました。羽村市でも区画整理が進められています。

中心市街地活性化の取組み

視察の目的・内容

市街地を元気にする取り組みを観光都市会津若松市から学んできました。国・県・市の役割を明確にしなが、最終的には株まちづくり会津が国からTMOとして認定され、現在さまざまな事業に取り組んでいます。

株まちづくり会津には市も出資者として入っており、市から部長も配置されています。

具体的には、商店街活性化プログラム、商店街共通スタンプやポイント

カードの管理運営、周遊

会津若松市

バスの運行、路地裏整備、駐車場や「野口英世」青春広場の管理運営などがあり、今後は「まちの駅」がオープンする予定です。

市街地の活性化に関することは、すべて株まちづくり会津が実施しており、市の事業は委託事業として株まちづくり会津にお願いをしています。

にぎわいのあるまちづくりの条件は、

- ① 行政の施策との整合性を図る
- ② 具体的に誰がやるかを明確にする
- ③ 商店街全体の意識と個店の質を高める
- ④ 住民参加型のまちづくりを進める

の4点、だということです。そして、この手法により、ほとんど人が来な

何よりも市民の理解を得るための努力が大切であることを再認識しました。この視察で得たことを今後の議会活動に生かしていきたいと思えます。



かつたある商店街に、年間25万人もの観光客が訪れるようになったと聞いて、私たちはびっくりしました。

今後、市は産業振興課が観光商工部と農政部に分割され、株まちづくり会津と綿密な連携のもとで、観光都市を目指すとのこと。視察を終えて

株まちづくり会津は多種多様な自主事業を展開しています。きめ細かな事業を行うことが、観光客が増え、市街地の活性化につながるということがよくわかり、羽村市で生かせる事業は生かしていきたいと思えます。

※TMO：中心市街地の商業街づくりを運営・管理する機関のこと。

